

おっぱい通信



2009年度、私たちは赤ちゃんにやさしい病院をめざします！！

母乳とお薬

皆さんご存知ですか??

お母さんが薬を飲んでも、ほとんどの場合

母乳育児を続けられることを!

お母さんが飲んだ薬は、母乳の中に分泌されます。しかし、その量は**お母さんが飲んだ量の1%以下**です。一般的に、赤ちゃんが母乳から飲む薬の量が、お母さんが飲んだ薬の量の**10%以下**なら、赤ちゃんには安全と考えられています。つまり、**お母さんが薬を飲んでも、赤ちゃんへの影響はほとんど問題にならないとされています。**

当センターでは、授乳中に薬を飲まなくてはいけなくなったお母さんに、できるだけ赤ちゃんへの影響の少ないとされる薬を飲んでいただくために、3つの表を作成しています。

「授乳中使用しても問題のないお薬」

「授乳中使用してはいけないお薬」

「授乳中の乳児への影響が懸念される

精神疾患用お薬」

担当医師と相談のうえ、注意事項等を十分に確認し、お母さんと赤ちゃんの母乳育児支援に活用してください。

上記の3つの表は

院内LAN 薬局 **授乳と薬**

を、ご参照下さい。

お薬に関する疑問・質問は
薬剤科DI室(2131)まで

母乳の利点

- ・異物混入の可能性がない
- ・産後、母体の回復が早い
- ・ミルクの場合よりも、
1年間で13万円もお得
- ・赤ちゃんとのコミュニケーションがとやすい

母乳育児のための10か条

～毎号1条ずつ掲載します～

2. この方針を実践するために必要な技能を、すべての関係する保健医療スタッフにトレーニングしましょう。

私は、おっぱい通信第1号に登場した女の子! 5か月になりました。こんなに大きくなったよ。もちろん、飲んでるのはおっぱいだけ!!

